議会だより
かつらぎ

かけはし

104
2025.02

延べ634人 ボランティア大活躍

02 決算審査 財政状況は改善していると判断
13 一般質問　町民のおもいを届ける60分
22 あふれるかつらぎ町への思い
　議会と自治区長会の意見交換会

令和５年６月豪雨災害の災害ボランティアによる民家の泥出し

10月会議

決算審査

財政調整基金は過去最高額

財政状況は改善していると判断

決算審査特別委員会は、6日間の審査で、令和5年度に執行された状況を深く把握しつつ、決算を多面的に評価した。9会計中8会計は認定されたが、一般会計は、賛成少数で不認定となった。この結果を踏まえ、委員長報告をまとめ、本会議に報告した。本会議では全ての会計が、賛成多数もしくは全員賛成で認定された。（詳細は6ページ）

一般会計の借金の返済（公債費）は約14億7000万円だったが、交付税には公債費の返済分が加算されているので、町負担は約4億7000万円になっている。

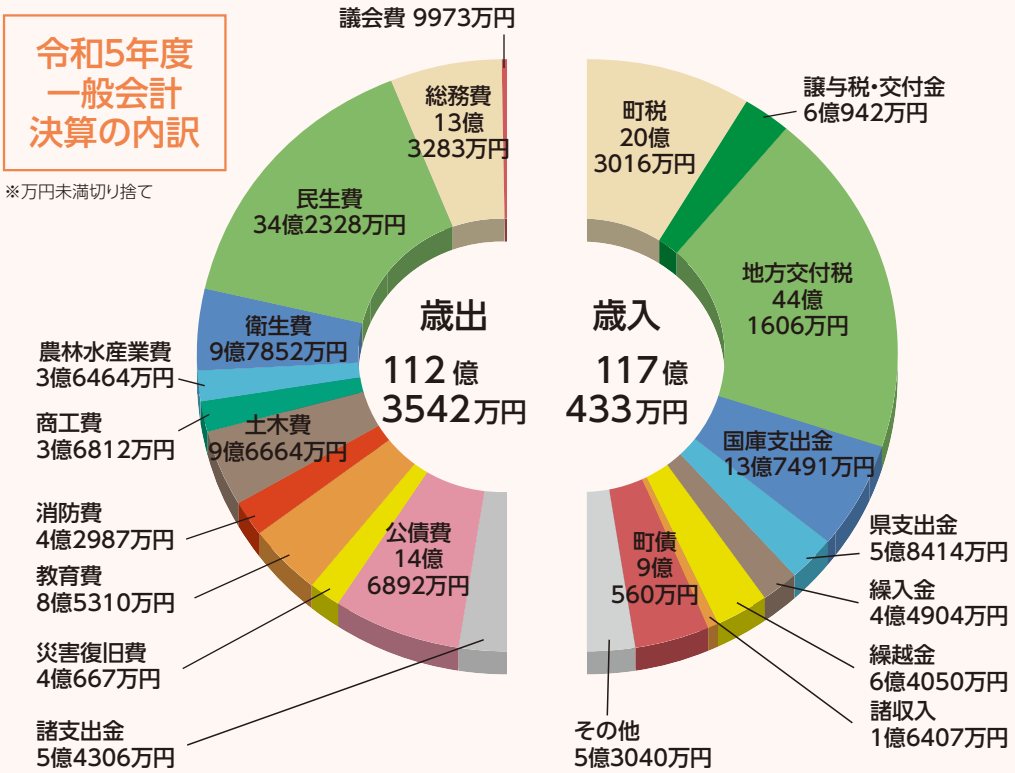
※経常収支比率は98・3％に上昇したが、2億593万8000円を※財政調整基金に積み立てた結果、残高は過去最高の16億6532万1000円となった。決算審査特別委員会は、財政状況は改善していると判断した。

【決算審査特別委員会】
委員長　滝ノ上 万記

委員長報告の様子はこちら▼

令和5年度 一般会計 決算の内訳

※万円未満切り捨て



問　行政改革推進等の成果として、財政調整基金を2億593万8000円積み立てることができたとあるが。

委員長　事業を集中し、補助金や効率のよい地方債の活用などが行われた。

！※財政調整基金とは

災害対策、緊急時の財源、不足する経費の財源などに充てられる。

！※経常収支比率とは

財政構造の弾力性を判断する指標。家計でいえば、収入に対する毎月の固定支払いの割合。この比率が高いと余裕がなくなる。

議会だよりキャラクター「かきかあちゃん」

10月会議（10/24～28）	
専決処分	1件
決算認定	9件
意見書	1件

議会を傍聴して　いただいた傍聴アンケートを基本的に原文のまま掲載しています（個人を特定できる表記は除いています）。

一般会計決算の特徴

防災 光る迅速な対応

6月2日の豪雨の際、家電リサイクル対象の家電ゴミも含め住民負担なしで処理しつつ、中間ゴミ置き場を設置した。町職員を被災した地域に派遣し、支援活動に当たったこと、社会福祉協議会が広域からボランティアを受け入れ、住民との橋渡しを行ったことは素晴らしかった。

重機をもって駆けつけてくれた災害専門ボランティアグループ。増水によって倒れたブロック塀除去作業

ボランティアさまさま

皆さんの助けがなかったら復旧まで倍以上の時間を要したと思う。

東渋田
西村　正俊（にしむら　まさとし）さん

福祉 衛生 県内4番目の保育料無償化

保育料の無償化に必要な予算は1983万円。これによって新たに117人分の保育料が無償になった。

名称が変更された「いきいきサロン事業」は、年齢制限をなくし、子どもとの交流も含め、取り組めるとともに、老人会が行う事業も対象になった。また介護予防に取り組めば、1回当たり500円の補助が加算された。

新たに産後ケア事業もスタートした。

みんな楽しそう。保育料無償になって良かったね（三谷こども園）

県内でも先駆けた支援

長男の時は保育料が必要だったので、なおさら有難く感謝です。

中飯降（写真左から）
木下（きのした）　直美（なおみ）さん
誠心（せいこころ）さん
心美（こころみ）さん　敦也（あつや）さん

議会を傍聴して | 70代［女性］ | 街灯について、車ではわかりにくい箇所は歩行していると気付きます。設置場所、点検していただければと思いました。

農林 商工

有害鳥獣被害は深刻 悩ましい対策

有害鳥獣被害は引き続き深刻。町が把握している農作物の被害額は2236万9000円となった。猟友会の高齢化など人員不足の問題があり、次世代の育成が課題となっている。※援農隊の受け入れには、課題が見えてきた。

道の駅周遊事業は、町内業者の参加を増やすことが課題となっている。

有害駆除として捕獲されたニホンシカ

問 地域おこし協力隊の活動で「援農隊の受け入れは、労働者派遣法との関係で課題が見えてきた」とある。課題とは何か。

委員長 農家に労働者を斡旋するには、労働者派遣法に基づく許可が必要である。

実態を知ってほしい

要望に対し書類上の手続きを要するが、スピード感も持ってほしい。

星山
西垣（にしがき） 俊秀（としひで）さん

※援農隊とは

農作業を助けるボランティア。

全国をまわっている。

福祉

町営住宅は入居者こそ主人公

町営住宅は、このままでは空き家が増え、コミュニティ維持にも課題が生じる。住宅の建て替えまで期間が長期にわたるので、町営住宅の有効活用を行いつつ建て替えを求めた。

団地を歩くと空き家が多いのにビックリ（笠田団地）

町管理の住宅空き家率を調べてみた

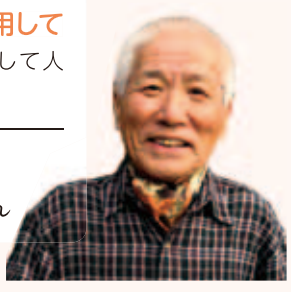
住宅の区別	管理戸数	入居戸数	空き家戸数	空き家率
町営住宅（19団地の計）	447	305	142	31.8%
高田コミュニティ住宅	16	14	2	12.5%
北寺公的賃貸住宅	6	1	5	83.3%
桜ヶ丘定住促進住宅	59	39	20	33.9%
合　計	528	359	169	32.0%

（令和6年12月20日現在）

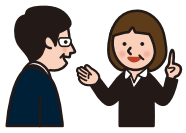
団地を有効活用して

募集をもっとして人を入れてほしい。

笠田東
森本（もりもと） 匡胤（まさたね）さん



賛否が分かれる討論



国民健康保険事業特別会計

反対

国保税は高すぎる

東芝　弘明議員

負担増には反対。県と市町村は対等。保険税が統一されても町が軽減できる。国保には構造的な欠陥がある。税の基本は生計費非課税にあるのに収入のない人に税金がかかる。国保税は高すぎる。

後期高齢者医療事業特別会計

反対

老人医療費の無料化を

東芝　弘明議員

高齢者の2割負担導入を強行採決したのは自民、公明、維新。後期高齢者医療制度は年齢で区別する諸外国には例のない事業。この制度は廃止し、老人医療費の無料化制度を復活すべき。

賛成

恒久的な継続を願う

山下　慎二議員

この制度は県下全体の事業であり、かつらぎ町においては黒字となっている。高い収納率も評価できる。病気や介護予防につながる保険事業などの充実を図り、安定的で、恒久的な制度の継続を願う。

介護保険事業特別会計

反対

保険料は高すぎる

東芝　弘明議員

80万円の年金収入に対し8万2200円の保険料を負担させる介護保険は制度として間違っている。サービス受給者は2割。負担だけを強いられている。このままではホームヘルプ事業がなくなる。

賛成

不便や不安に寄り添って

大山　希世議員

地域医療と密な連携で、支援が行き渡るよう取り組んだ努力を感じる。C型サービスは要支援前段階の人へのトレーニング。介護を防げば保険料負担軽減にもつながる。今後も一層取り組まれたい。

10月・12月会議採決状況（賛否が分かれた決算は4件）

	会計名・件名	結果＼議員名	松岡 宏行	藤本 憲一	東芝 弘明	大原 清明	浦中 隆男	溝北 好一	中谷 雅美	羽根 祥起	滝ノ上万記	山下 慎二	表員 弘	大山 希世
令和5年度決算	一般会計	8対2で認定	－	○	×	○	○	○	○	×	○	○	欠	○
	シビックセンター特別会計など5件	10対0で認定	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	国民健康保険事業特別会計 後期高齢者医療事業特別会計 介護保険事業特別会計	9対1で認定	－	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
10月会議	国土強靭化の強力かつ計画的な推進を求める意見書	10対0で可決	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
12月会議	人権擁護委員候補者推薦2件	9対0で適当	－	○	○	欠	○	○	欠	○	○	○	○	○
	課室設置条例の一部改正など4件 町道の廃止など7件 一般会計補正予算（第7号）など7件	10対0で可決	－	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
	学校の業務量に見合った教職員配置と長時間労働を抑制するため教員に残業代を支給可能とする給特法の改正を求める請願・意見書	10対0で請願は採択 意見書は可決	－	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○

（注）松岡宏行議員は、議長のため採決には加わらない。　○は賛成　×は反対　欠は欠席

議会を傍聴して　70代［女性］　健康であり続けるために特定健診の大切さも認識しました。

委員会で一般会計は不認定 一転、本会議では認定

委員会では一般会計決算は賛成2人、反対3人で不認定

決算審査特別委員会は委員長報告で、財政状況は改善していると全員一致で判断した。委員長を除く委員5人のうち3人が一般会計決算に反対したので、一般会計決算は不認定となった。本会議では、賛成が8人、反対が2人で認定となった。討論した議員は6人（賛成3人、反対3人うち委員会のみが1人）。討論と質疑を掲載する。

一体、何が起こったの？

本会議は、決算審査を委員会に付託した。委員会の審査は最大限尊重される。それでもなお、委員会と本会議の結論が食い違うことはある。今回、一般会計決算は本会議の判断で認定となった。

委員長報告に対する質疑

問 決算審査特別委員会で「決算を認定しないと決定した」との報告であったが。

委員長 斎場管理費の消耗品として、コピー用紙を100万円購入しているが、斎場以外でも使っていることが問題だという意見により、反対する委員が増えた。

問 斎場のコピー用紙の購入に対し「必要な経費の範囲にとどめるよう改善されたい」と指摘しているが。

委員長 斎場の事務費として使っているのか。コピー用紙を100万円分購入し、1年間で使い切れないのではないかと指摘した。

決算審査特別委員会の様子はこちら

本会議の様子はこちら

本会議では一般会計決算は賛成8人、反対2人で認定

議会を傍聴して | 70代［女性］ | 選挙についての発言で電子投票に前向きですが、高齢者はそれだけで身構えてしまいます。

賛否が分かれる討論

一般会計

反対 委員会の討論

疑問が払拭できない

表具　弘議員

斎場でのコピー用紙の購入は、民間ではこのような消耗品の購入はしない。会社全体で使うものであっても、各部署単位で予算を組んで購入するのが大前提。最終的に疑問が払拭できない。

反対

賛成面と反対面がある

東芝　弘明議員

保育料の無償化、公民館の新たな設置、歴史民俗資料館の整備、豪雨災害への対応には賛成、ヘリコプターによる観光事業、市場調査をしない優良賃貸住宅、改修しない町営住宅の管理には反対。

反対

メディア事業の成果は

羽根　祥起議員

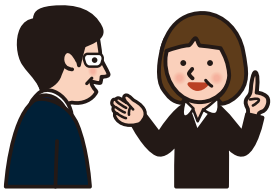
事業の成果が具体的に示されていない。アドバイザーの会社名などが知らされていない。どういう企業か知らせるのが普通だと思う。

賛成

さらに安定した財政を

大山　希世議員

事業は適切に執行された。6月の豪雨災害後、同月15日に災害復旧費が上程され迅速に取りかかれた。即、ボランティアセンターを設置し、一般・災害専門ボランティアの尽力もあり、被災者が生活を再開できた。



賛成

良好に遂行された

山下　慎二議員

実質単年度収支は5年連続黒字、財政調整基金残高は4年連続増加である。保育料無償化、産後ケア事業などおおむね良好に遂行された。監査委員の意見に対し、真摯に耳を傾けてほしい。

賛成

適正で認定できる

浦中　隆男議員

議会が可決承認した予算が適正に執行されたか、そうでなかったかを審査することであり、委員長報告でも、不適切な予算の執行が行われたとの指摘はなく、決算の状況から適正で認定できる。

議会だより編集特別委員会からのお知らせ

多くの声を聞かせてください

“かけはし”には1人でも多くの住民に登場いただくことを大切に考えています。
今後も取材等へのご協力をお願いいたします。

大山　希世　議員

傍聴をお待ちしています

本会議や委員会の傍聴をしていただけると、紙面には載らない、議員の考えや町当局の取り組みを知っていただけます。
ぜひ、議会のリアルを見に来てください。

議会を傍聴して　70代［女性］　良く調査されてグラフ化し良く解りました。

12月会議 議案審議

12月会議では、歴史民俗資料館を本館とする、文化財拠点施設設置および管理に関する条例や、西パーキングエリア上り線地域振興施設と、はなぞの温泉「花圃の里」の指定管理、地域優良賃貸住宅の用地取得などの議案、各会計の補正予算を審議し、全て全員賛成で可決した。審議内容は8ページから11ページ。

12月会議（11/28～12/17）	
人事	2件
補正予算	7件
条例	4件
事件議決	7件
請願	1件
意見書	1件
一般質問	5人

買収する用地から見た東側のアクセス道路。この先に妙寺中学校がある。道路拡幅整備が必要

まちづくり

地域優良賃貸住宅事業は進むが課題もある

【一般会計補正予算】
【財産の取得】

内容 地域優良賃貸住宅を建設するため財産の取得を行う。財源のほとんどは国から借りる公営住宅建設事業債。丁ノ町の元酒造工場跡地などで面積は9771・85平方メートル。最大80戸の住宅を建設できるが、課題は需要の把握とアクセス道路の整備にある。実際に何戸建てるかは企業の提案による。

問 現時点では、通学路や国道までのアクセス道路の整備計画がない。道路計画ができないと、優良賃貸住宅事業もうまくいかないのではないか。

技監兼検査長 来年早々県と協議をし、早急に計画を立てたい。

問 妙寺地域からスーパーマーケットが撤退したので、町が責任をもって需要調査をすべきでは。

企画公室長 町による実施方針案ができれば、企業からの提案を受ける。企業提案の中にアクセス道路の希望や需要調査が含まれるので、町として提案内容を見て検討する。

優良賃貸住宅に期待

幅広い若者世帯向けで、新規就農者の定住にもつながるのでは。

島城 貴彦（しまじょう たかひこ）さん

！ 設計は誰がするの？

官民連携事業なので、町が示す実施計画案に対し、民間企業から事業内容や建築設計の提案を受ける。

議会を傍聴して | 70代［女性］ | 電子投票については、高齢者には無理だと思います。また問題もあり、難しいのではないでしょうか。

現在の営業時間は午前8時～午後7時。かつらぎ町の顔としてさらに発展を期待したい

商工

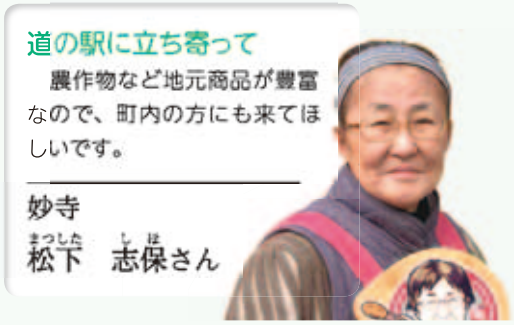
利用者に特産品と安らぎを 道の駅かつらぎ西（PA上り線）

【公の施設の指定管理者の指定】

内容 指定管理10年を経て、引き続き「株式会社まちづくりかつらぎ」が3回連続で指定された。応募は1社のみ。

問 議会が指定管理の判断をするために、事業計画や収支計画などの資料提出方法を改善すべき。

参事（総務・厚生担当） 企業の秘密を守ることと、指定管理者を指定する審議資料の提供などを研究したい。



観光

魅力アップを 花園の里指定管理

内容 最初の指定管理から10年。「株式会社アイガアル」が2回連続で指定された。応募は2社。町は5年間の指定管理料として6000万円を設定。採算を合わせることが困難な施設の指定管理。

癒される、くつろげる花園の里。さらに魅力のアップを

問 高野山の安価な宿泊場所としての提供は。また施設として成果が出なければどうするのか。

町長 どのように呼び込むか検討する。今後5年間で施設の在り方を含め検討する。

※指定管理とは

公の施設の管理には、直営や委託、指定管理の方法がある。

指定管理の目的は、民間の経営努力とサービスの向上、運営経費の削減にある。

議会を傍聴して 70代［女性］ 一般質問は今回5人でしたが、もっと多くの議員に質問していただき、議会が活発になれば。

行政改革

サービス向上の思いを込め課を再編

【課室設置条例の一部改正】

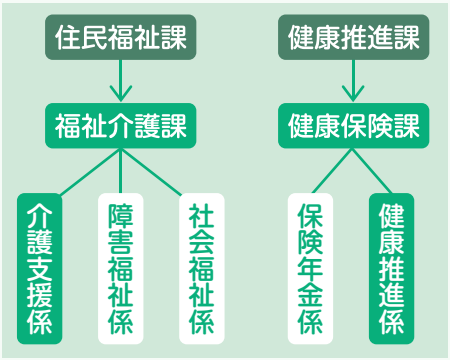
内容

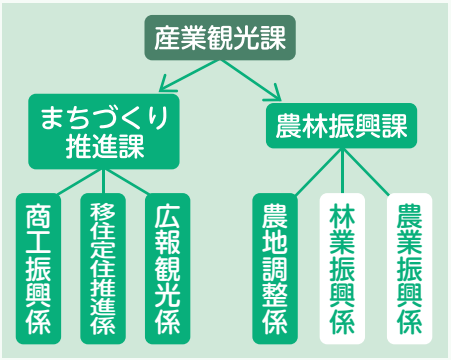
町は約1年間の検討を踏まえ、課室設置条例の一部を改正した。課室は2増となり、18課室となる。令和7年4月1日から施行する。

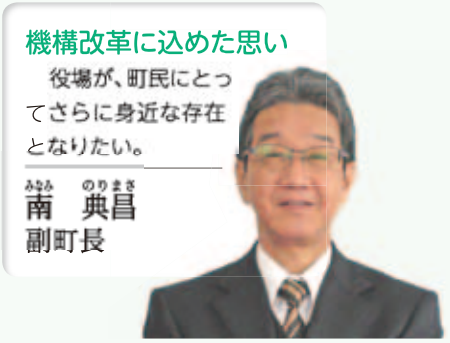
農林、商工、観光を抱える産業観光課では課題が盛りだくさんになっている

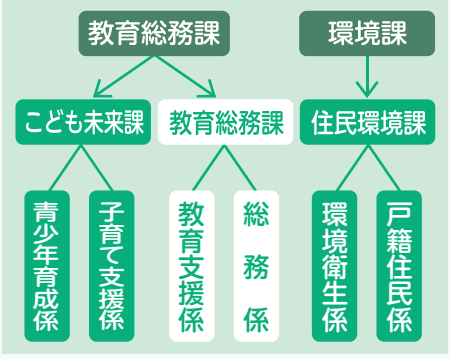
機構改革の主な内容

・産業観光課が「農林振興課」と「まちづくり推進課」に分かれる。
・健康推進課は「健康保険課」となる。
・住民福祉課の福祉関係と介護保険等を合わせ「福祉介護課」となる。
・環境課は、住民係を加え「住民環境課」となる。
・教育委員会の規則が改正され、子育て支援と青少年育成を係とする「こども未来課」となる。









自治体のデジタル化へ本格始動

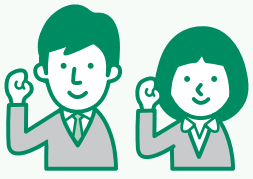
問 企画公室の情報政策係の仕事は。交通政策係とは。

企画公室長 情報システムの管理運営とともにデジタル化を図る。交通政策係は、総務課所管のコミュニティバスとデマンドタクシーの事務を移管し、公共交通全体の政策を管理する。来年度は、公共交通計画を策定する。

包括支援センターの在り方の検討を

問 介護と福祉を一つの課にまとめた。将来的に包括支援センターをこの課に統合すべきでは。

副町長 今後検討したい。



議会を傍聴して | 70代［女性］ | ツッコミ所の無いナアナアの質問、少しガッカリしました。もう少し熱気のある議会を希望します。

佐野寺跡から昭和53年の発掘調査で出土した佐波理（銙蓋）

文化

歴史民俗資料館 令和7年10月天野にオープン

【文化財拠点施設設置及び管理に関する条例制定】

内容 天野に、歴史民俗資料館と収蔵庫による文化財拠点施設が、令和7年10月にオープンする。そのための設置条例。木・金・土・日の開館を予定。博物館法に準じて観覧は無料となる。専門家を含め10人程度で文化財拠点施設運営審議会を構成し、この施設を軸に文化財行政を発展させる。

問 文化財拠点施設と歴史民俗資料館の関係は。

生涯学習課長 補助金申請との関係で文化財拠点施設という名称になった。本館が歴史民俗資料館で、建物の看板もこの名称となる。

歴史を物語る資料は貴重

佐波理の出土等によって佐野寺跡（大字佐野）が、飛鳥時代（593～710年）で、中央政府と関係の深い遺跡だと分かった。佐波理は銅とすずの合金で全国でも数例、県内唯一。816年の高野山開創以前の地域信仰や社会を物語る貴重な資料。

福祉

佐野こども園 熱中症対策 大きな庇設置

【一般会計補正予算】

内容 今ある庇を利用しつつ、防火対策を行いながら、新たに幅5メートル、長さ26メートル弱の庇を設置する予定。

夏は非常に暑い。庇を拡張することで子どもたちが楽しく遊べる

防災

待ち望んでいた 復旧工事スタート

内容 町道四邑13号線における大規模な地すべり災害は、ようやく復旧工事にかかれるようになった。

問 2億円かかる復旧工事の調査内容と施工方法は。

建設課長 調査によって地すべりの範囲および深さの確定と、対策工法を決定した。地中の地下水を抜く横ボーリング工法と、斜面を固定するアンカー工法を実施する。

町道四邑13号線の地すべりは、幅20～25メートル、奥行き130メートルに渡って下方にすべっている

12月会議録画配信はこちら

議会を傍聴して 60代［女性］ 私は少し耳が聞こえにくいのですが、ちゃんと聞き取れて良かったです。私達の生活に関わる問題を取り上げて頂きありがとうございます。

教員の大幅増員と国土強靭化推進を求め2つの意見書提出

10月会議では「国土強靭化の強力かつ計画的な推進を求める意見書」を国に提出した。12月会議では「学校の業務量に見合った教職員配置と長時間労働を抑制するため教員に残業代を支給可能とする給特法の改正を求める請願」を委員会・本会議ともに全員賛成で採択し、同趣旨の意見書を国に提出した。

先生は子どもたちのために遅くまで頑張っている（笠田小学校の教室）

意見書提出

教職員を増やし 残業代の支給を

教職員の長時間労働は深刻。教育活動に専念するため、必要な教員を正規教員で確保し、長時間過密労働を解消すべき。そのために定数法（義務標準法と高校標準法）の改正と長時間労働の抑制のため、給特法を改正し残業代支給を可能にすべき。

取材メモ

山下　慎二　議員

子どもに対する熱意があるため、より良い授業を求めて仕事時間が長くなる。教員の定数を増やし、必要な人員を確保することで負担も軽減される。残業代の支給も含めて見直されるべきである。

国土強靭化対策で整備された小林谷川の護岸（三谷地内）

意見書提出

防災対策を強め 一層の国土強靭化を

自然災害が激甚化・頻発化する中、国土強靭化の「中期計画」策定が求められる。「半島防災」という新たな視点を取り入れ、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保するなど、取り組みを推進するよう強く要請する。

本会議での録画配信はこちら▼

学校の業務量に見合った教職員配置と長時間労働を抑制するため教員に残業代を支給可能とする給特法の改正を求める意見書

国土強靭化の強力かつ計画的な推進を求める意見書

一般質問

町民のおもいを届ける60分

一般質問は、町政に関する提案や質問を行うもので持ち時間は1人60分。記事は、質問者が作成したものである。

2027年問題 蛍光灯が無くなる
溝北　好一…… 14

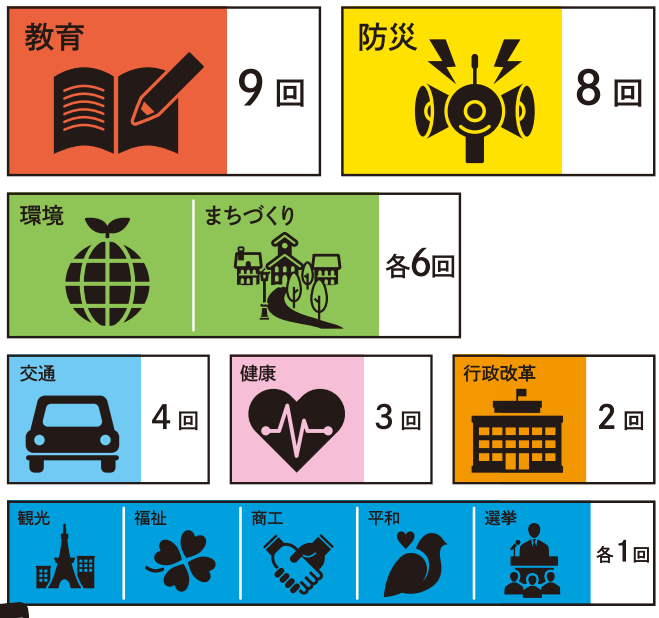
早急に公共交通の抜本的見直しを
大山　希世…… 15

かつらぎ町の選挙で選挙公報作成を
滝ノ上万記…… 16

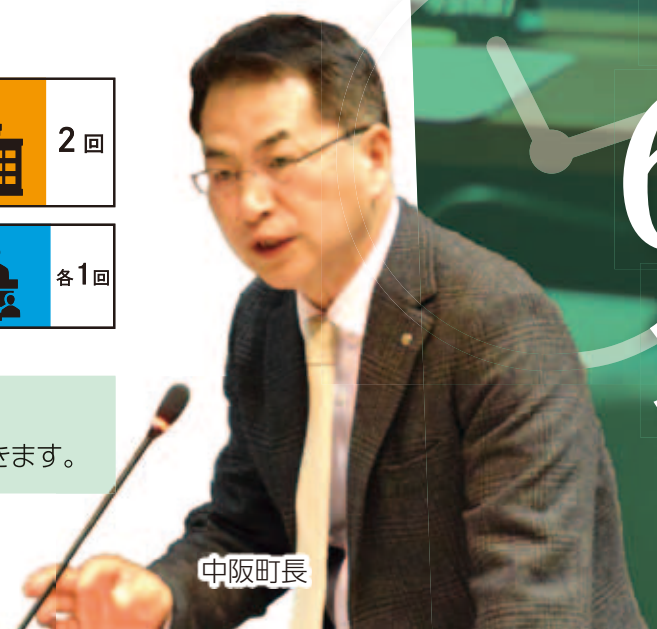
買い物困難者への支援策を早急に
藤本　憲一…… 17

核兵器禁止条約の批准を国に求めて
東芝　弘明…… 18

令和6年中に行った一般質問テーマ



各ページの二次元コードを読み取ると、
ユーチューブで質問映像を見ることができます。



中阪町長

2027年問題
蛍光灯が無くなる

［町長］廃棄処理も含め、周知を進めたい

溝北　好一 議員

問　2023年、水銀に関する水俣条約締約国会議にて2027年末で水銀を含む蛍光管の製造禁止が合意。今後3年間で、蛍光灯に替わるLED照明の需要が急増する。工期や商品不足により、学校やトンネル等不点灯が許されない施設の対策が求められるが、町の対応は。

参事（総務・厚生担当）　町の施設は多くの照明器具を使用。すでにLED化しているものや古い施設は蛍光灯使用と混在。故障の改修や、施設の改修改築時に順次LEDにしているが、各施設の現状を把握し、照明器具等の在庫や今後の供給体制を踏まえ、優先順位を考え計画的にLED化を進める。

問　本町では、新築・改築以外に意識的にLED化した施設はあるか。

総務課長　照明機器の老朽化に伴う更新や、改修工事でLED照明に交換した。

問　計画中の庁舎はどう対応するのか。

総務課長　新庁舎建設は官民連携事業で整備を目指す。現庁舎で故障によるものはLED照明に交換。蛍光管は50本程度ストックで対応する。

問　庁舎関連施設、花園支所は。

総務課長　南別館・西別館は、庁舎完成後解体撤去のため本庁舎と同様。花園支所は耐震診断の上、補強工事時の更新を計画。

問　町内の各街灯・交流センター等は。

総務課長　自治区・町内会設置の防犯灯は、設置補助金の活用で随時LEDに更新中。また、交流センターは耐震工事含め検討する。町保有の集会所は、整備補助金を活用し町内会等で改修してもらう。

問　蛍光灯使用の大きい学校・教育施設への取り組み方向性は。

教育次長　現在、故障時に随時取り替えているが、蛍光灯・水銀灯は、施設の運営状況等に応じ計画的にLED化の整備を行う。

問　具体的に学校等は。

教育総務課長　施設の状況や利用頻度を調査の上、優先順位を決め計画的に取り組む。財源は「公立学校施設整備補助金」等の活用。安全確保のため長期休業期間での改修を計画。

あと数年現状での使用が望まれる、役場住民窓口の蛍光灯

問　公民館・児童館等は。

生涯学習課長　優先順位を踏まえ計画的にLED化を進める。

問　町内の各家庭でもLED切り替えが進むと考えるが、廃棄物処理の計画は。

環境課長　現収集区分で継続。廃棄量の増加等受け入れ体制は、エコライフや構成市町と協議する。

問　町民にとっても大きな課題である。住民への告知推進は。

町長　現照明器具に比べ省エネ・耐用力・環境等が改善。町として環境対策、廃棄機器処理方法の周知を図る。

早急に公共交通の抜本的見直しを

［町長］全体の在り方を考え進める

大山　希世 議員

問　交通が生活の豊かさを高め、地域の発展を促進すると言える。本町公共交通の利用者が少ない要因、課題がある。抜本的な見直しが必要と感じるが検討しているか。

現行の公共交通をどう変えていくかが課題

企画公室長　住民アンケートでは「コミュニティバスを広範囲に走らせてほしい」など、充実を願う声を多く把握。これまで積み重ねた調査を基に、令和7年度「公共交通計画」の策定を計画している。

問　現在、移動手段がない人、すでに運転免許証を返納した人、近い将来返納の時期を悩む人にとって深刻で喫緊の課題。町長の考えは。

町長　公共ライドシェアと共存、また共同運行していくために研究検討していく。公共交通の在り方を考え取り組みを進める。

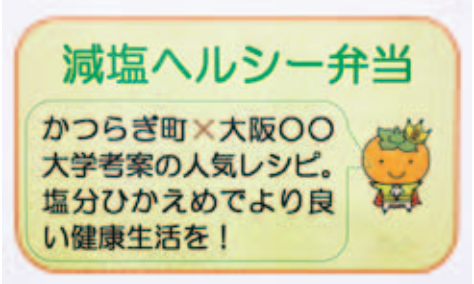
保険料負担を軽減し健康寿命延伸への取り組みを

［町長］精力的に確実に進めたい

問　近年の状況から、住民の国保税や各保険料の将来的な推移をどう見込んでいるか。

健康推進課長　全体増加傾向の見込み。国保1人当たりの医療費は増加傾向。また全国的に団塊世代が後期に移行し被保険者が増加見込み。保険料も比例し2年ごとの改定で増加見込み。介護保険は2040年に高齢者人口がピークに達し、生産年齢人口が急減すると推計。1人当たり介護保険料も比例して増加見込み。健康意識の向上と生活習慣病予防、病気の早期発見と治療などの積み重ねがなければ保険料などが増加する見込み。

問　ハイリスク者を減らし、生活習慣病を未然に防げば町が負担する給付費の削減や、住民の保険料の負担減にも反映してくる。何より健康で過ごせる人が増える。そのために、近い将来の疾病を予測するシミュレーション検査の導入。また大学と町で連携した取り組みを生かした減塩レシピの活用を提案する。総菜やお弁当レシピの提案に事業者へ足を運び、町ぐるみで普及推進に取り組んでは。取り入れる事業者にはステッカー（図参照）の活用を。



私が提案したステッカー
このようなステッカーを使って
かつらぎ町ならではのお弁当を作ってはどうか

町長　予測シミュレーション検査については、エビデンスや健診体制について研究したい。現時点で本町は、国が推奨する5つのがん検診と前立腺がん検診を基本に実施し、特定健診、がん検診を無料にしている。減塩レシピの普及も含め精力的に確実に取り組みを進めたい。

かつらぎ町の選挙で選挙公報作成を

［総務課長］選挙期間が短く配布は困難

滝ノ上万記 議員

問 先般行われた衆議院選挙において、那智勝浦町の一部の世帯に、比例代表などの選挙公報が配送されていなかったとの報道があった。かつらぎ町内でも衆議院議員選挙において、選挙公報が届いていないという話を耳にした。本町では、選挙公報をどのような手段で配布しているのか。また、自治会に加入していない世帯には、選挙公報をどのような方法で配布しているか。

総務課長 本町において、選挙公報は町の広報紙と同様、自治区等に配布をお願いしている。自治区・町内会に加入していない世帯については、期日前の投票所、役場、花園支所、各公民館に配置することで対応している。

問 この前の兵庫県知事選挙では、主にSNS上では候補者の本当の政策が有権者に届かず、多くのデマが飛び交い、それを基に有権者が投票先を選択していたという報道があった。

そこで、今こそ候補者自ら作成し、選挙管理委員会が発行するため、デマ等が入る隙のない選挙ビラや選挙公報、選挙ポスターの有効性が高まってきていると考える。その中でも、全戸配布される選挙公報を、かつらぎ町の町長選挙や町議会議員選挙において作成してはどうかと考えるが見解は。

総務課長 町の選挙は選挙期間が5日間と短く、選挙公報の配布が困難であり、実施は難しいと考える。

まとめ 先日、議会と自治区長会との意見交換会が開催されて、私も広報広聴特別委員会の委員長として出席した。そこで区長から出た意見の中に「自治会というシステムがいつまで続くのか分からない」「後を担ってくれる跡継ぎがいない」という話を聞いた。選挙公報を一つ取ってみても、現状はその配布を区長に依頼している状態である。もしこのシステムが無くなれば、選挙公報の配布をどうするかということが問題になる。それがいよいよ現実的になってきている。働き盛りの世代の中には「区費は払うから区の仕事は言わないでくれ」という人たちもいるという話を聞く。理由は仕事や子育てに追われているためであるようである。そのような状況が今後は拡大することが予測される。選挙公報だけに限らず、区長と町、行政との関係も、もう一度見直していく必要があると考えるため、関係性について根本的に見直しを検討してほしい。

選挙ポスターの掲示を見て投票の参考に

買い物困難者への支援策を早急に

［町長］早急な対応が求められていると承知

藤本　憲一 議員

問　9月末で妙寺のスーパー、衣料店が撤退した。徒歩での買い物に住民が困っているとの声をよく聞く、早急な支援策を求める。

　買い物にデマンドタクシーを利用する方法を勧めたが、乗り継ぎしなければ笠田のスーパーに行けない。コミュニティバスと併用すれば30分しか買い物時間がないので、使い勝手が悪いとの返事が返ってきた。再検討は。

総務課長　本町のデマンドタクシーは、日常の移動手段として、令和3年4月から運行を開始した。その当時は、妙寺のスーパーがあった。現状に合った改善が必要と考える。現在、企画公室が中心となり、公共交通計画の策定に向け取り組んでいる。

問　スーパーの代わりとして、移動販売やミニ販売所がある。今は、町外の事業者が移動販売を行っている。町内事業者が移動販売や空家商店を利用したミニ販売所を運営した場合、町の応援補助は。また、若い就農者がやる、軽トラ市の場合も同様の支援ができないか。

産業観光課長　住民が参加してグループをつくり、事業者として移動販売、ミニ販売所を運営する事業や軽トラ市に対して、応援補助を行うことは可能だと考えている。現状は、事業に対する直接の補助金はない。しかし、先進地の事例を踏まえ、今後研究する必要があると考える。

問　12月の町広報に「新たなスーパーの誘致や、閉店後の対策を真剣に協議しており、皆様の生活が快適になるように取り組んでいく」という町長メッセージが掲載されていた。誘致と並行して、移動販売、ミニ販売所も検討しては。また、スクールバスを利用した買い物ツアーも検討しては。

町長　スクールバスを活用した買い物ツアーは、すでに検討に入っているが、ドライバー不足ということがネックになっている。皆さんを買い物できるエリアにお連れする方法を考えるのが第一。

　閉店後、地域の皆さんには大変不便をかけていること、また、町としても早急な対応が求められていることも十分理解している。

まとめ　今は、自由に至るところへ買い物に行く人や若い人、そういう人たちもきっと買い物困難者になっていく。その時になって慌てても遅い。買い物困難者の支援策は、全町民の問題として捉える必要がある。

九度山の軽トラ市。こういう移動販売を期待する

核兵器禁止条約の批准を国に求めて

［町長］批准を迫るべきではない

東芝　弘明 議員

問　被団協のノーベル平和賞受賞の意義をどう把握しているか。

町長　被爆者の立場から核兵器のない世界を実現するための努力と、核兵器が二度と使用されてはならないことを証言によって示したもの。

問　核兵器禁止条約に対する認識は。

町長　核兵器禁止条約は、アメリカを含む核兵器保有国の支持を得られていない。

問　町長が署名したヒバクシャ署名、かつらぎ町が加盟している平和首長会議、これらは、核兵器禁止条約の批准を求めているが。

町長　核兵器禁止条約を批准すれば、アメリカの傘の中から外れる可能性がある。批准はできない。

問　批准すべきでないというのは、日本維新の会と自由民主党。他の政党は、締約国になるべきだという方向。アメリカの核の傘は、アメリカの核の傘と同じか。

町長　アメリカと安全保障を締結しているという意味だ。

問　アメリカは、核兵器の先制使用を戦略にしている国。核抑止力論は、通常兵器による戦争を排除せず、核兵器使用の危険性を高めるのではないか。

町長　抑止論の是非を議論するのは国会の専決事項。署名や加盟はお付き合い程度。国に対し批准を迫るべきではない。

妙寺のまちづくり 道路改修を

［町長］大きなプランを考え対応する

問　妙寺地域にスーパーマーケットを誘致するのは必要不可欠ではないか。

企画公室長　スーパー等事業者への働きかけは今後も積極的に行いたい。

問　担当課は企画公室か。

参事（総務・厚生担当）　プロジェクトチームを結成し対応したい。

問　住民によるまちづくりの協議会が必要ではないか。

町長　一般の住民の意見を吸い上げることが重要。

問　もっと早く道路の改修を求めるべきだった。妙寺の北と南を結ぶ道路と、北側の狭い道をどうやって拡幅していくのか。

建設課長　現在検討中。具体的な計画は、今後の妙寺地域の整備計画に合わせ作成予定。

問　道路改修と併せないと排水問題を解決できないと思うが。

建設課長　道路の改修に併せた検討になる。

問　高台にも買い物ができる仕組みがいるし、国道の南側には、スーパーマーケットの誘致も必要だが。

町長　高台の道路は狭く、ＪＲを越える道路が少ない。まちづくりの大きなプランを考えながら対応すべきと考える。

妙寺駅の東にある跨線橋から北に延びる町道の改修とともに
妙寺中学校と妙寺小学校の通学路の改修が
まちづくりにとって必要になっている

総務産業常任委員会

議員間協議が活性化 ぜひ傍聴を

10月から12月まで毎月委員会を開催。「空き家対策」（企画公室）と「かつらぎ町消防団」（危機管理課）、「農業法人」（産業観光課）の所管事務調査を実施。上下水道課より「公共下水道全体計画の見直し」の説明を受けた。

12月の委員会では、議会BCPに基づく訓練を年度内に実施することを確認。大規模災害時においても議会が機能するよう努力を重ねたい。

議員の防災訓練イメージ

所管事務調査を通じて活動の「見える化」、住民の福祉の向上へ

委員長　表具　弘

議会運営委員会

基本条例と会議規則の改正へ

基本条例と会議規則の改正を軸にした見直しは、いよいよ議案として1月の本会議に提出するところまできた。委員会の全面公開、自由討議の仕方や詳細説明、会議規則の改正による現行ルールの明文化など、これらを具体化した意味は大きい。

逐条解説をホームページに掲載する。さらに改革を前へ。

新たなスタートライン。さらに皆で前進したい。

委員長　東芝　弘明

広報広聴特別委員会

自治区長会と活発に意見交換

自治区長会との意見交換会を実施した。町内の多くの区長が出席し、それぞれの地区の現状や要望等を聞くことができた。また議会としての考えも区長に伝えることができた。（関連記事は22～23ページ）

新たな活動にも取り組んでまいります。

委員長　滝ノ上　万記

厚生文教常任委員会

参考人制度を活用

9月会議で、当委員会へ付託された「学校の業務量に見合った教職員配置と長時間労働を抑制するため教員に残業代を支給可能とする給特法の改正を求める請願」の審査にあたって、教職員組合の職員（参考人）と、本町指導主事から県と町の状況を聞いた。委員から教職員の意見を聞きたいとの要望を受け、正副委員長で小・中学校へ出向き、校長との懇談を行った。学校の状況や校長の切実な声を聴き、現状を把握することができた。懇談内容を精査し、議論を行った結果、出席委員全員賛成で採択すべきとなり、意見書の提出となった。

教職員の勤務時間は教育委員会のパソコンで詳細に管理されている

所管事務調査や視察研修先など委員全員で意見を出していきたい。

委員長　山下　慎二

議会だより編集特別委員会

紙面改善のための研修

広報アドバイザーの矢嶋洋美（やじまひろみ）氏を講師に招き、午前中は全議員で、午後は委員会で研修を受けた。矢嶋氏は7年前にも来てもらった人であり、本町の議会だよりをずっと注目している人だった。

「本音を言ったらこの議会だよりに対し、私が提案できることがあるか不安でした」

研修の最後に矢嶋氏はそう言ったが、その言葉とは正反対に学ぶことの多い研修になった。

午前は文章の書き方を学び、例文の文章を要約する作業に取り組んだ。

午後は写真の撮り方、見出しの付け方、写真のキャプションとトリミングを学んだ。

「7年前の研修で発展するためのスイッチを置きました。今回もそれを置いて帰ります」

この言葉に応えたい。

講師の評価が高かった山下議員撮影の写真　構図とぼかしが見事

委員の負担も大きいが、意欲は高い。編集は楽しい。

委員長　東芝　弘明

令和6年度

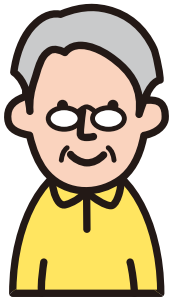
議会モニターの声

monitor's voice

町民の声を議会運営に反映するため、議会モニター制度を実施している。提出された感想等レポートの一部を原文のまま抜粋し掲載する。

本会議

新庁舎建設と妙寺駅再開発の議論が出ました。にぎわいのある街づくり、というコンセプトで計画されているように感じましたが、多くの人が近隣の岩出市や橋本市に出かけているのをつなぎとめるような魅力ある集客施設を作り出すのはなかなかむつかしいと思います。　（70代男性）



議会運営委員会

膨大な量の資料を頂きましたが、当然すべての項目を理解されるために、日々勉強されるのだろうなと思いました。内容の重さと町民を背負っての会議を経験させて頂きました。　（70代女性）

議会だより

本年度議会モニターをさせていただき学ぶ所、大でございました。広報かつらぎ、議会だより”かけはし”等毎号、丁寧に読む習慣もできました。

（70代男性）

令和７年度議会モニターを募集
あなたの声を議会に！

募集人数｜15人程度

任　　期｜1年間(4月～3月)

職　　務｜
①本会議や委員会を傍聴し意見を提出
②議会だよりやホームページに関する意見を提出
③議員との懇談会　など

謝　　礼｜あり

応募資格｜
①満18歳以上　②町議会に関心があること
③町政および地域社会の発展に関心があること
詳しくは、町議会ホームページをご覧ください。

表紙写真紹介

社会福祉協議会（社協）が立ち上げた災害ボランティアセンターは、町民や近隣住民、全国からの支援を受け入れた。写真にある社協が用意したビブスを着ている人はセンターを通じて参加したボランティア。これ以外に災害対応に詳しい災害専門ボランティアが延べ 477 人来てくれた（写真は３ページ）。この中には、重機をもって参加した大阪のグループ、何度も東京から夜行バスで来た人もいた。

◀ こちらから
活動の詳細をご覧いただけます

103号の24ページに誤りがありましたので、おわびし訂正します。

誤　笠田小学校３年
中川　悠太郎さん

正　笠田小学校６年
中川　悠太郎さん

～ あふれる かつらぎ町への思い ～

令和6年度議会と自治区長会の意見交換会

真剣に悩みを打ち明ける区長に耳を傾ける議員

11月22日に、はなぞの温泉「花圃の里」で、自治区長会と議員による意見交換会が行われた。

今年のテーマは「自治区・町内会が必要としていること、困り事とは何か」だった。当日は時間とともに熱をおびて…。

地域課題とどう向かい合うのか

今年も3つのグループに分かれ、約70分の意見交換会を行った。その内容は「地元の土手の修繕や木の伐採など、農家さんには重機をもっている家もある。でも自治区にお金がないから頼めない。自分たちでしたくてもできない。だから自治区に融通の利くお金があるとありがたい」「町内会から脱退する高齢の方が増え、若い世代は面倒だからと言って入りたがらない」など、白熱した意見がたくさん出された。その他の主な意見は3ページで一部紹介。

また「地域内のメイン道路である農道を町道に昇格して欲しい」との意見があり、後日、自治区長から相談を受け、議員は直接現場を確認し、問題解決に向けて一歩前進した。

Bグループ

西渋田自治区
安部（あべ）　恒夫（つねお）自治区長

本当にありがたい

このような意見交換会の機会をつくってもらって本当にありがたい。

Cグループ

四郷第二自治区
小林（こばやし）　洋之（ひろゆき）自治区長

もう少し早くできれば

一年で替わる区長もいるので、もう少し早い開催もありがたい。

高齢化に伴う**人材不足**。役をもってくれる人がいない

民生委員の仕事内容を見直せないか

避難所は近くの一時避難所だけでいい

A グループ

町内会費はもらってないが、**安否確認**のため広報は配っている

議員がいないので、相談できない

太陽光発電事業が悩ましい。どうしたらいいのか

B グループ

高齢者ばかりで、**災害時に避難**を誘導する人がいない

イノシシ・シカが畑の野菜や果物を食べてしまい、対策に困っている

免許証を返還した方の交通手段がなくなっている

C グループ

＼出席の自治区長・議員 30人の意見は／

今回出た意見を、
議会活動に生かせていくかが大きな課題。
今後は、広報広聴特別委員会でも検討していく。

取材メモ

中谷　雅美　議員

議員は地域へ懇談に出向くことが求められていると感じた。

A グループ

高田自治区
木村（きむら）　清志（きよし）自治区長

思いをくみ取って

交換会を通して、少しでも自治区の思いをくみ取ってほしい…。

次世代シリーズ

がんばる人紹介

NEXT GENERATION

これからの「かつらぎ町」を担うのは君だ！

次世代シリーズ「がんばる人」は、スポーツや文化活動などで頑張っている子どもたちを紹介します。
学校の中だけでなく、さまざまな分野で一生懸命に取り組む姿を応援します。

質問事項

1. 今、頑張っていること
2. 始めたきっかけ
3. 将来の夢
4. かつらぎ町の好きなところ

【渋田小学校 5年】

阪中（さかなか） 初菜（はな）さん

1. 難しい曲を弾けるようにがんばっています。
2. 2歳の頃にピアノに出会い、好きになったから。
3. カウンセラーになりたい。
4. おいしいフルーツがたくさんあるところ。

【妙寺小学校 6年】

西田（にしだ） 成太郎（せいたろう）さん

1. 市町村対抗ジュニア駅伝の練習に励んでいます。
2. 陸上記録会で自己ベストを出し、選手に選考されたから。
3. 泳ぐのが好きなので水泳選手になりたいです。
4. 自然があふれて色々な種類の果物がある所です。

【笠田中学校 2年】

野口（のぐち） 穂香（ほのか）さん

1. 吹奏楽部の部長と生徒会の書記です。
2. 皆の前に立って挑戦したかったからです。
3. 子供が好きなので、保育士になりたいです。
4. 優しい人が多くて過ごしやすいところです。

発行：和歌山県かつらぎ町議会　〒649-7192 和歌山県伊都郡かつらぎ町大字丁ノ町2160番地
TEL0736-22-0300㈹　FAX0736-22-0604　https://www.town.katsuragi.wakayama.jp/gikai/
編集：議会だより編集特別委員会

町議会ホームページ

和歌山県かつらぎ町議会